

# 長澤先生、 腎臓って

## 結局どう診ればいいですか？

## 目次

適切な判断のための診療センスが身につき、  
食事・薬物療法からコンサルトまで自信をもってできるようになる

- ◆ 推薦の言葉 ..... 田中哲洋 3
- ◆ はじめに ..... 長澤 将 5
  
- §1 高血圧と腎臓 ..... 10  
降圧の目標／薬物治療の実際／血圧の下限／ SGLT2 阻害薬の登場
- §2 高カリウム血症のマネージメント ..... 22  
本当にRAA系が必要な患者か考えよう／偽物の高カリウム血症に注意／緊急でのマネージメント／慢性期のマネージメント
- §3 最近の減塩 ..... 34  
塩と血圧の関係／減塩の第一歩は血圧測定から／減塩がうまくいっているかをどうチェックする？／代替塩をどう捉えるか？／飲水励行をどう捉えるか？
- §4 CKDの食事指導 ..... 42  
「腎臓病といえば低たんぱく食」の考えは古い／カリウム摂取の考え方／リンについてはどうする？
- §5 血糖と腎臓 ..... 52  
糖尿病の歴史／糖尿病治療の目標は？／具体的な治療／SGLT2阻害薬かGLP-1受容体作動薬か？

<b>§6</b>	<b>尿タンパクの捉え方</b> .....	69
	検尿の重要性／原疾患を意識しよう	
<b>§7</b>	<b>腎性貧血の治療</b> .....	78
	腎性貧血治療の歴史的背景／腎性貧血の診断／治療の実際／貧血がよくならいときにどうするか？	
<b>§8</b>	<b>尿酸と腎臓</b> .....	90
	何のために尿酸を下げるか？／重み付けをして診療をしよう／具体的な処方は？／抗酸化作用は？	
<b>§9</b>	<b>造影剤腎症</b> .....	97
	実際のリスク管理／本当はどのくらいの頻度で造影剤腎症が起こるか？	
<b>§10</b>	<b>薬剤性腎障害</b> .....	106
	薬剤性腎障害の歴史的経緯／日常臨床で注意する薬	
<b>§11</b>	<b>急性腎障害</b> .....	112
	AKIからCKDになることが問題／AKIは防ぎえるか？／AKIの診断基準／RRTのタイミング／RRTからの離脱への道筋／バイオマーカーや治療法はあるか？	
<b>§12</b>	<b>急速進行性糸球体腎炎の捉え方</b> .....	123
	日常臨床に潜むRPGN／RPGNの疫学／治療について／治療強度はどうするか？／抗GBM糸球体腎炎はどうする？／診断は大丈夫？	
<b>§13</b>	<b>IgA腎症</b> .....	139
	本邦におけるIgA腎症の疫学／非専門医がIgA腎症発見のためにすべきこと／IgA腎症の治療の歴史	
<b>§14</b>	<b>ネフローゼ症候群</b> .....	156
	ネフローゼ症候群の診断／ネフローゼ症候群の疫学／ネフローゼ症候群の診療に腎生検は必要か？／治療について／再発についてどうするか？	

<b>§15 常染色体優性多発性嚢胞腎</b> .....	174
疾患概念／ADPKDの合併症／ADPKDの診断／遺伝子検査まで必要？／トルバプタンの実際の使用／嚢胞感染のときにどうするか？／ADPKDにまつわるQ&A	
<b>§16 腎生検について</b> .....	190
診断面から考える腎生検の重要性／腎生検の方針／出血量と合併症に関係はあるか？／実臨床に落とし込むには	
<b>§17 ベストな血液透析導入のタイミング</b> .....	197
どのような患者が透析導入になるか？／何をもってよい血液透析導入とするか？／いきなり週3回の透析がベストか？	
<b>◆ 索引</b> .....	205
<b>◆ プロフィール</b> .....	212

## Column

● EPO 製剤の定義 .....	79
● メチシリンの話 .....	110
● 血管炎の治療 .....	131
● 肉眼的血尿は予後がよい？ .....	143